

六戸町 公園施設長寿命化計画

令和4年3月

六戸町建設下水道課

1. 都市公園整備状況

(平成2年5月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
2	46.4ha	42.28 m ² /人

2. 計画期間 [令和4年度(2022)～令和13年度(2031年度)(10箇年)]

3. 計画対象公園

①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
			2									2

②選定理由

計画対象公園は、六戸町が管理する、昭和56年度に開設された館野公園と運動公園である。公園施設の老朽化が進行しており、これから修繕が必要となる施設が次々に確認される可能性がある。今後、公園施設の維持・修繕・更新について、多額の資金投資が必要になることが予想される。各公園、各施設の健全度を把握し、計画的な修繕・更新を図るため、長寿命化計画策定の対象公園に選定した。

4. 計画対象公園施設

①対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
64	8	41	8	22	7	20

管理施設	災害応急対策施設	その他	各種設備	合計
110	-	-	-	280

②これまでの維持管理状況

対象公園は現在、六戸町により直営で管理されている。消防設備点検や遊具点検は、毎年、委託業者により行われている。

③選定理由

公園は幅広い世代の町民が利用する可能性のある施設である。町民が安全に安心して公園を利用できるよう、各施設の健全度を把握し、適切な公園の維持・保全・運営を行うため、本計画の策定を行う。

5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

公園施設の点検調査は令和3年度に実施した。

全280施設の内、植栽と占有物を除いた273施設を対象に行った。

点検方法は主に目視であり、各施設の劣化の状況を確認した。健全度は以下の4段階で評価した。

A：全体的に健全 B：部分劣化 C：全体的に劣化 D：全体的に顕著な劣化

健全度種別毎の各判定の施設数を以下に示す。

【一般施設】

A:52施設(23%) B:115施設(50%) C:51施設(22%) D:11施設(5%)

【遊具】

A:0施設(0%) B:4施設(50%) C:4施設(50%) D:0施設(0%)

【土木構造物】

A:1施設(20%) B:3施設(60%) C:1施設(20%) D:0施設(0%)

【建築物】

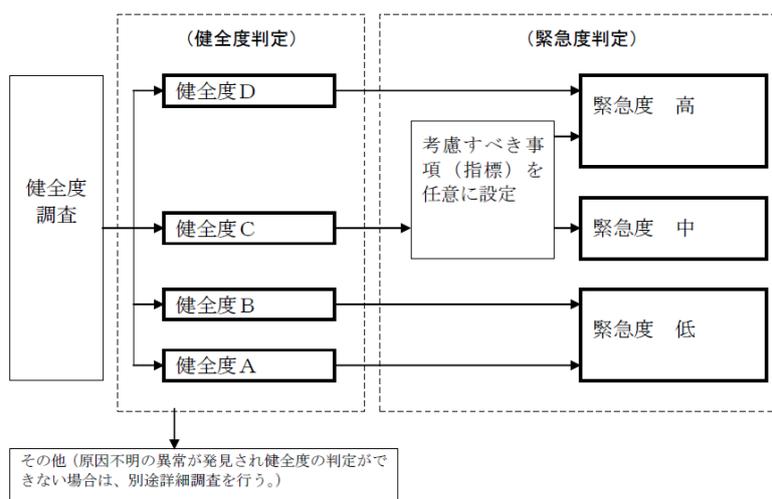
A:1施設(6%) B:4施設(23%) C:12施設(71%) D:0施設(0%)

【各種設備】

A:3施設(22%) B:8施設(57%) C:3施設(21%) D:0施設(0%)

6. 対策の優先順位の考え方

健全度判定結果を基に、指針案に従って緊急度の設定を行った。本業務では、健全度Cについては、考慮すべき事項（指標）を設定せず、緊急度を「中」とした。



7. 対策内容と実施時期

①日常的な維持管理に関する基本的方針

【目標管理水準の設定】

施設の劣化状況や施設の重要度を考慮して、目標とする管理水準を設定する。

予防保全型管理施設(遊具)については、管理水準を「健全度ランク B」以上を維持することを目標とする。

事後保全型管理施設については、「健全度ランク D」に至る前までを目標とし、劣化や損傷の進行を判断して撤去・更新を行う。

【日常の点検や定期点検における留意事項】

健全度調査票を活用して、調査員が異なった場合でも必要な情報が提供・記録されるよう努めるものとする。

【異常を発見した場合の留意事項】

異常が発見された場合、必要に応じて利用禁止とし、安全性を確保する。また、異常が確認された施設が予防保全型管理の施設の場合は健全度調査を実施し、長寿命化対策を検討する。事後保全型管理施設の場合は、劣化や損傷の進行を判断して撤去・更新を行う。

②公園施設の長寿命化のための基本方針

【定期的な健全度調査の設定】

予防保全型管理を行う施設は、日常的な維持保全作業に加え、定期的な健全度調査を定期的に実施することとする。

■毎年 遊具、各種設備(法令などの規定による点検)

■1回/5年 遊具以外の予防保全型管理施設

【予防保全型管理における対策時期及び補修方法の設定】

■遊具の主な部材の交換サイクル 概ね5～10年

■塗装のサイクル 概ね5～10年

■対策時期

- ・健全度判定と更新見込み年度を踏まえ対策時期を設定する。
- ・緊急度が「高」の施設を優先して対策を行う。
- ・費用が集中する場合は、金額が大きな施設を複数年かけて段階的に整備する。

8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期等

※ 別添「公園施設長寿命化計画調書」（様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3「公園施設種類別現況」）による

9. 対策費用

①概算費用合計（10年間）【②+③】	821,356千円
②予防保全型施設の概算費用合計（10年間）	469,069千円
③事後保全型施設の概算費用合計（10年間）	352,287千円
④単年度あたりの概算費用【①/10】	82,136千円

10. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

計画全体の実施効果のまとめ
処分制限期間経過直後で更新した場合と比べ、単年度あたり、10,562千円のコスト縮減を図ることができる。

11. 計画の見直し予定

①計画の見直し予定年度（西暦）：[2026年度]

②見直し時期、見直しの考え方など

健全度調査の結果が、長寿命化計画で定めた内容と著しく乖離が生じた場合には、長寿命化計画の見直しを行う。

(様式1) 公園施設長寿命化計画調査(統括表)

公園名	種別	供用年度	長寿命化を実施する公園施設	主な公園施設			長寿命化対象公園施設数	年次計画(費用:千円)										単年度あたりのライフサイクルコスト削減(千円)
				設置年度	経過年数	処分制限期間など		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	
運動公園	総合	1999年4月1日	観覧席、助走路、土俵、バックスクリーン、電光掲示板、バックネット、キュービクル、大型照明灯、メインスタジアム、ステージ等	1999	23	7~50	147	0	29,086	0	82,787	54,740	349,680	40,961	56,000	56,000	57,140	+ 9,772
館野公園	総合	1981年4月1日	階段、木橋、四阿、園路、ベンチ、炊事場、ブランコ、滑り台、トイレ、照明、デッキ、柵等	1981	41	7~50	126	1,550	88,960	46	2,686	756	46	70	46	46	756	+ 790
								1,550	118,046	46	85,473	55,496	349,726	41,031	56,046	56,046	57,896	+ 10,562

(様式3) 公園施設長寿命化計画調書(公園施設種類別現況)

公園施設種類	公園施設名	設置公園数	主な公園施設の現況写真	
園路及び広場				
	縁石	1	 <p>【橋梁】</p>	 <p>【舗装】</p>
	階段	2		
	橋梁	1		
	舗装	2		
	その他	2		
修景施設				
	水流	2	 <p>【水流】</p>	 <p>【四阿】</p>
	飛石	1		
休養施設				
	キャンプ場	1		
	シェルター	1		
	パーゴラ	1		
	ベンチ	2		
	四阿	2		
	野外卓	1		
遊戯施設				
	スプリング遊具	1	 <p>【すべり台】</p>	 <p>【テニスコート】</p>
	すべり台	1		
	フィールドアスレチック遊具	1		
	健康器具系施設	1		
	踏み板式ぶらんこ	1		
	その他	1		
運動施設				
	サッカー場	1	 <p>【野球場】</p>	 <p>【陸上競技場】</p>
	スコアボード	1		
	テニスコート	1		
	バックスクリーン	1		
	バックネット	1		
	相撲場	1		
	野球場	1		
	陸上競技場	1		
	その他	1		
便益施設				
	時計台	2	 <p>【時計台】</p>	 <p>【便所】</p>
	水飲場	2		
	標識	1		
	便所	2		

